

第4回 地域の持続性調査2022

調査内容・各種報告書のご案内

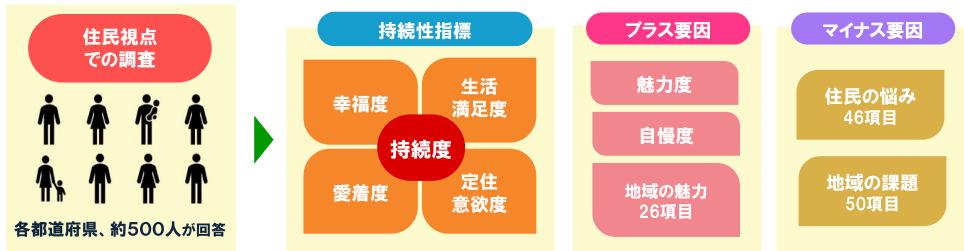
地域の持続性調査とは

幸福度など住民視点の指標から地域の持続性を明らかに

「地域の持続性調査」では、住民視点で“地域の持続性”を明らかにするため、各都道府県の住民約500人、計22,973人を対象に調査を行い、評価指標として**幸福度**、**生活満足度**、**愛着度**、**定住意欲度**の4項目を数値化するとともに、それらの総合指標として**持続度**を算出しました。

持続性に影響するプラス要因とマイナス要因を分析

より詳細な分析を行うため、持続性に影響しているプラス要因として、住民による地域の**魅力度**と**自慢度**、そして**魅力要因**の3つを数値化するとともに、持続性に影響しているマイナス要因として、住民が感じている**悩みや課題**を抽出し数値化することで、具体的な施策づくりに役立てることができます。



[SDGs関連指標について]

前年までは「地域版SDGs調査」の中で持続性に関する設問を設けていましたが、設問数が増えたことと、調査の方向性を明確にするため、持続性に関する設問は「**地域の持続性調査**」として独立させ、SDGsに関する設問は関連調査として「**地域版SDGs調査**」で取りまとめています。

調査のポイント

-01- コロナ禍前を含む4年間の経年変化の分析ができる！

持続性指標である**幸福度**、**生活満足度**、**愛着度**、**定住意欲度**の4指標と、これらの総合指標である**持続度**は4年前から調査を行っているため、コロナ禍前からの変化を分析することができます。

-02- 住民視点の評価を都道府県ごとに比較分析ができる！

都道府県ごとの住民を対象とした調査を実施しているので、各都道府県の持続性について**住民視点**の評価を知ることができるとともに、都道府県ごとに評価を数値化しているので、**全国の都道府県と比較分析**を行うことができます。

-03- 属性別の分析ができる！

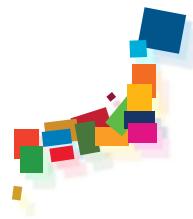
回答者の性別や年代、職業などの属性情報も集計しているので、各項目に回答した人の男女比や年代構成などがわかるクロス集計ができます。この属性分析を活用することで、より明確な施策を打ち出すことが可能になります。

地域の持続性について

日本各地では少子高齢化が大きな課題になっています。

特に「まち」としての魅力が低下した地域からは若者の流出が進み、流入が減少することによって、人口が減少し地域疲弊につながります。

そこで本調査では、地域が「持続可能」となるために、住民視点による地域の持続性評価と地域の課題、ロイヤルティ(プラス要因)、さらに住民の悩みについても数値化し明らかにしました。



幸福度、愛着度などの4項目

評価指標として幸福度、生活満足度、愛着度、定住意欲度の4項目を数値化するとともに、それらの総合指標として持続度を算出しました。

さらに、各持続性指標の結果について、都道府県別ののみならず、属性別(年代、職業等)にもまとめており、住民の評価を詳細に把握するとともに、施策づくりに役立てることができます。

※都道府県ごとの属性別の結果は個別報告書のみの掲載



地域の魅力度や自慢度について

持続性に影響を与えるプラス要因として、住民による地域の魅力度、その魅力を他人に伝える自慢度、そして魅力の要因の3つを指標化しました。これらのロイヤルティ項目が高ければ、その地域の魅力が県外にも伝わり、地域のブランド力の向上につながります。

地域の魅力項目としては「自然が豊かなこと」や「食事がおいしいこと」など計26項目の魅力要因をそれぞれ数値化しランキングしています。



住民の悩みは何ですか？

持続度の項目のうち、幸福度や生活満足度に大きく影響していると思われるマイナス要因として、個人や家族の悩みがあります。その内容は、経済面や仕事、健康など人によって大きく異なっています。

そこで、本調査ではSDGsの17ゴール、169のターゲットの内容を参考にして、具体的な住民の悩みを46項目抽出し、最も関係性の強いゴール別に整理しています。



地域の課題は何ですか？

持続度の項目のうち、愛着度や定住意欲度に大きく影響していると思われるマイナス要因として、地域社会に関する不満や課題があります。

そこで、その内容を産業や、まちづくり、エネルギー問題など50項目抽出し、SDGsの17ゴール、169のターゲットの内容を参考にして、最も関係性の強いゴール別に整理しました。



こんな方にオススメ！

■ 地域の持続性を知りたい!!



■ 地域の何が評価されているか知りたい!!



■ 住民の悩み、地域の課題が知りたい!!



■ コロナ禍前との変化が知りたい!!

調査概要

- 調査名 : 地域の持続性調査2022
- 調査方法 : インターネット調査
- 調査対象 : 登録調査モニター(15歳以上)から、居住している都道府県別に抽出
- 総回収数 : 各都道府県から約500人を回収。計23,520人
- 有効回収数 : 22,973人 (各都道府県の有効回答者数は476~514人)
※回答時点で各都道府県に居住していない人は「無効回答」とし、集計から除いた
- 調査時期 : 2022年5月20日~5月26日
- 対象地域 : 47都道府県
- 属性 : 年齢、性別、居住地域、婚姻、子どもの有無、職業、業種、世帯年収、住居

関連調査「地域版SDGs調査」について

住民視点で地域のSDGs取組評価を見る化

※今回より、調査項目が増えたため、
SDGs評価などの指標は別調査として独立させました。

もう一つの調査である「地域版SDGs調査」は、各地域のSDGsへの取り組みについて、住民による評価を見える化とともに、住民自らのSDGsにつながる行動実態を明らかにした調査です。

住民のSDGs認知度、取組意欲をはじめ、地域のSDGs評価などを数値化しています。



「地域版SDGs調査」と「地域の持続性調査」をセットで購入されるとお得に！

SDGs調査・持続性調査 報告書セット 通常価格からさらに2万円引き

例えば… 地域版SDGs調査 /総合報告書(68,000円) + 地域の持続性調査/総合報告書(68,000円) = 136,000円 → 116,000円(税込)

※個別報告書とのセットでも割引対象となります。



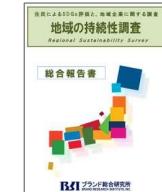
地域の持続性調査2022 報告書のご案内

■ 総合報告書 税込68,000円

※バックナンバー(2020年、2021年)をご希望の場合は、税込20,000円

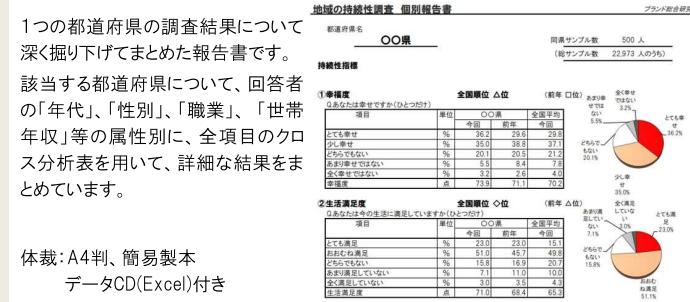
持続性指標である幸福度、生活満足度、愛着度、定住意欲度の4項目と、それらの総合指標である持続度、そのほか地域のロイヤルティ評価や、住民の悩み、地域の課題などの全調査項目の結果を47都道府県分まとめた報告書です。

体裁:A4判、無線綴じ製本



■ 個別報告書 税込48,000円

※他都道府県の個別レポートもご希望の場合、追加料金は20,000円(税込)/1都道府県



体裁:A4判、簡易製本
データCD(Excel)付き

- ✓ 4年分の結果(持続性指標のみ)
- ✓ 前年の結果(比較結果がある設問のみ)
- ✓ 該当都道府県の属性別クロス



総合報告書と個別報告書をセットで購入されるとお得に！

総合・個別報告書セット 税込96,000円

オプション(総合報告書)

■ データCD 税込20,000円

お申込みいただいた総合報告書のデータを
収録(Excel、またはPDFのいずれか)
PC画面上の表示、印刷など可能
※ローデータは含みません



■ データパック47 税込398,000円

個別報告書47冊分の完全版

47都道府県のデータを収録
商品は総合報告書とデータCDで構成
※ローデータは含みません

Excelで
分析可能

■ 個別調査パッケージ

税込350,000円～

ご指定の市、またはご指定のエリアのデータ追加調査を行い、報告書を作成します。
また、ご指定の企業、および競合企業も含めた追加調査も可能です。
詳細はご相談ください。

■ 報告会・セミナー

税込110,000円(交通費別途)

調査結果を基にセミナーまたは研修を実施します。
※報告書は別途

株式会社ブランド総合研究所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20

TEL. 03-3539-3011 FAX. 03-3539-3013 E-mail sdgs@tiiki.jp HP <https://tiiki.jp>